



北 霊 山 本 向 寺 本 堂

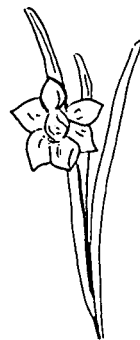
(寺 院 紹 介 は 6 p)

(1987 . 9 . 30 撮 影)

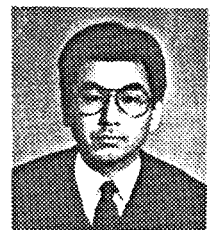
空知南組
組報

第 4 号
1988 . 5 . 1
発 行

〱四百年と其基幹運動〱



組相談員 天野 広海



「基幹運動」とは？門主さまが「教書」の中で、「人々のふれあいの中で一つひとつ着実になしとげてゆくところに展開してゆきます。もとより、私たちの一人ひとりが真の信心の行者になってゆくことを根本にしていますが、それとともに今日及び将来に向かって、全人類の課題を自らのものとして担う積極性が必要です。」と決意を明らかにされておられますように「自らのものとして担う」基幹運動の要が、念仏者の主体性であるとお示し下さっております。我が組に於いて昨年度より研修テーマを定め、一貫性をもって積極的に各部門のスタッフが研修会に取り組んでまいりましたが、テーマが抽象的すぎ、具体化するのに若干の戸惑いがあったことが反省としてだされこれを受け、本年度は標題に掲げましたように、明確化し、各部研修会の中に、顕如宗主四百回忌法要・寺基移転四百年法要のご消息を取り入れ、そのおこころを伝達すると同時に、寺院活動の活性化および基幹運動の周知徹底を一人ひとりが一歩一歩着実になしとげてゆくことができますように、その立場にあるものとして一層の努力、精進を重ねていきたいと思います。

又、皆様方の御協力、御鞭撻をよろしくお願い申し上げます。新年度にあたってのご挨拶とさせていただきます。

運動とは 走りながら考え
考えながら走ることで

始めて運動たり得るのである

(宗報より)

合掌

藤澤洋法雄師を偲んで

隆王寺住職 家郷 隆雄

人生に逆事が多く起こり勝ちだが、この度の藤澤師のご往生も、その例に洩れない無常のひとつまでであった。平素御健康であり老骨より十歳もお若かった人が一歩先に往かれたことは全く予想外であった。

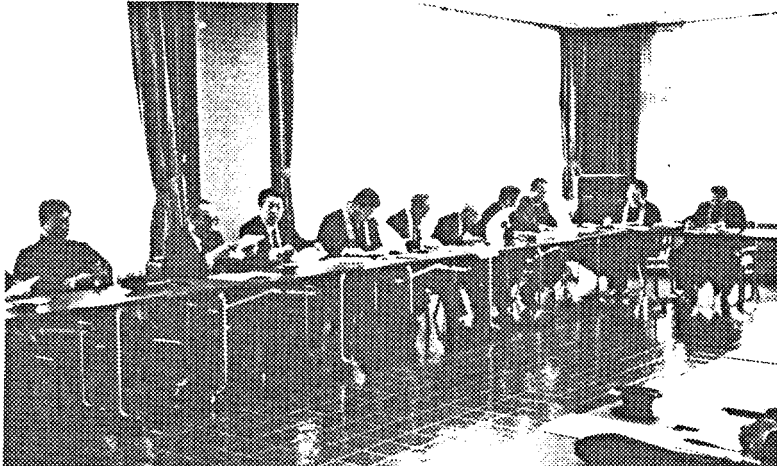
あなたは往年最も熱心な法義者であられたお母上の熱望に応え、東洋大学を卒業されるや、中神文雄先生の衆徒となり本山の教務入りをしたのが宗務員としての発足であったろう。その後年月日は不明だが大連別院(田丸輪番)に任せ、更に鹿兒島別院に転じ忠実な職員として勤務された。時宛も大東亜戦争が風雲急を告げ、国民挙げて護国のため、死闘を続ける中、岡部宗城師が第一管区長(北海道)として札幌別院に赴任し教区事務に当たられたが、藤澤師も札幌に転ぜられ筆者と同じ職員としての交友が始まった。然し国運は心ならずも敗北に帰した。その後清水輪番の在任中、筆者は長野別院に転任、当時風聞によって藤澤師は開教の為郷里岩見沢に帰り宗務を離れたと聞いていた。

その後師は専ら開教布教に、又岩見沢保護司等の社会福祉に三十有余年間を奉仕、又光明寺の開基に身を挺して活動せられた。今回歿後、国より従六位勲五等瑞宝章に叙せられたことも、師の生涯の実りの一つであったと思われる。来る五月十五日には法嗣正記君の住職継職法要が修行せられる。資性温厚にして自己を飾らぬ温かな風貌を思い浮かべて感無量な思いに住するのはこの老骨一人ではないであろうと思う。

定定期組会云報生口

4月18日午後3時半の定刻より副組長・名和氏の開会とともに空知南組定期組会が開催された。

杉田組長の新年度にあたっての挨拶の後、議長を広大寺住職・佐々木恵昭氏に願ひ議事の審議に入った。先ず、組長による昭和62年度業務報告。次に天野相談員より62年度の教化活動報告が行われた。続いて、山崎副組長より62年度一般会計決算報告と、監査本向寺住職・靈山氏より監査報告があった。次に昭和63年度の基推委活動計画が発表され、テーマを「400年と基幹運動」と定めた。本年は御消息披露記念法座を組内にて七会所催され、「顕如宗主・寺基移転」の法要に向けてより一層基幹運動を展開して行くこととなった。昭和63年度の一般会計予算では組財政緊迫の為、事務局より50%アップが提出され、明年度よりの健全財源確保の方法を特別委員会を設けて、協議することとして予算が承認された。引き続き席を改め懇親会が開催された。



組の予定

- ◇5月7日 連研終了式・於願王寺 引き続き音見沢田子作にて懇親会
- ◇5月10日 北ブロック仏婦大会・於証法寺
- ◇5月19日 空南会総会・於平安閣
- ◇5月31日 寺族婦人会総会
- ◇6月1日 北ブロック御消息披露記念法座・正教寺
- ◇6月2日 南ブロック御消息披露記念法座・誓報寺
- ◇6月3日 中ブロック御消息披露記念法座・本向寺
- ◇6月14日 中ブロック婦人大会・於賢誠寺
- ◇6月17日 南ブロック婦人大会・於妙華寺
- ◇6月17〜18日 Bブロック僧侶研修会・於旭川
- ◇7月中旬 仏壇研修会・於蓮教寺
- ◇7月 第3期連研開始

●寺族婦人会 ● 霊山 智子

この度、長い歴史と伝統を誇る空知南組寺族婦人会々長を命ぜられ、身の細る思いをしております。前会長の西本寺坊守様の勝れたお人柄に支えられ、三十周年記念事業の大成功は記憶に新しいところです。これも役員始め会員の皆様の心合わせが有ればこそかと存じます。

●空南会 ● 藤堂 征彦

めまぐるしく変転する時代の人の生命すら無視する悲しい現実です。伝統的な仏教は、今や人生と無関係のもののように考える人の多い昨今です。そんな時代だからこそ、我が空南会は大変重要な役割を持っており、この大事な時期に僧侶の新人であります私が、

会長に拝命され、戸惑っている次第です。空南会の歴史は、北海道の本願寺の発展の歴史であると言っても、過言でないと考えます。

昨年5月より、毎月一回の例会を持ちテーマを出し討議をしています。又、テレホン法話の吹き込み、色々な勉強等で時間の過ぎるのを忘れる

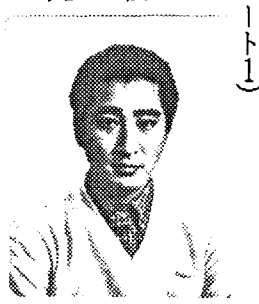
我々坊守の役目の原点に戻って、顔形、物の考え方は個々に異なっていますが、共通の願いを基として自分を磨き、違いを越えて一つになって、裏方としての地味であっても大切な務めを果たして参りたいと願って居ります。

四十年を屈指し、お念仏を喜び、様々な御縁に感謝し、皆様方のご協力を念じながら、一期一会、大切に二年間を歩ませて戴くつもりでございます。

○新担任は職職切初八介○ (パート1)

(光明寺住職 藤澤 正記)

この度本山より任職を拝命致しました。永い間、父のもとで若院として自坊の法務に邁進してきたと自負しておりましたが、父の死後葬儀に使った和ロウ(残ロウ)



を手にしてつくづく感じました。大きい和ロウは消すのに手間がかかり、消えたからと決して安心できない、ほっておくと又炎となり燃え出す、そして太いシンが残りなかなかガンコである。しかし、光はまるやかで優しく、風がなぐとも上下にゆれ動く、まさに激動の時代に一寺を建立した父の姿によく似ています。少ない門徒と共感しあい、現実認識を共有しあい、生き方を確かめあった父の姿に学び光明寺を継承してゆきたいと感ずるしだいです。



坊僧烈伝 寄昭和史

唯尊寺前任職 吉野 了顯

私が組長をした時(昭和三十二年〜四年間)は年功序列という感じで前任の組長さんより「おまえ、組長やれ!」と、ほとんど命令調で指名されました。今のように組会で選挙によって決めるようなことはありませんでしたよ。組会の会場と言えば必ず組長宅で、組内のほとんどの住職が集まりました。当然車のような便利の良いものはなく、皆さんバスや汽車を利用して一日がかりで組会にみえましたね。中には泊まっていかれる人もいたなあ。組費は組会に集まる時に持ち寄って、組長さんに渡しました。なんせお金が無かったので、各自の持ち出しも結構ありました。他からの助成金みたいなものは全然なかったし。今のよういきちっとした組織というものもありませんでしたし、大変でした。

私が組長退任後の思い出といえば、聖人の御遠忌に御本山に団参したことかなあ。組より六百人程行きました。当然団体特別列車で皆さんお米を背負ったりどぶろくを持ったり。この「どぶろく」が

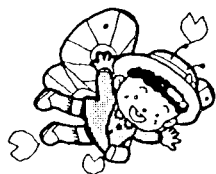


汽車の中で酔酔して「ポーン」と栓が抜けたりしました。本山にお参りした後九州へ行き、長崎のホテルでは六百人一緒のホテルに泊まりました。ところが、部屋が悪いだのと文句が出て、部屋割りが大変だったなあ。

他の思い出といえば萬行寺の前任さんの呼び掛けで「猛老苦会」という会が結成されて、年一度一泊旅行にでかけました。皆さんよく飲みましたねえ。教覚寺の前任さんも飲んだね。あの方は月形まで自転車でお参りに行っていました。私も今でもお参りに行きますよ。月参りで一言お法のお話しをする。これは大きな教化たとおもいます。

「和顔愛語」の心を忘れずに、「門徒さんの心を踏みにじらず僧侶の心得は「壁に豆を投げたのと同じ」で、心をもって接すると門信徒より必ず返って来るものがあります。これが、寺門興隆の要でしょう。

合掌



新役員 切和介

主寸族婦一人会

- 会長 霊山 智子
- 副会長 辰田 摩子
- 会計 林寺 邦子
- 監査 吉野 由美子
- 家郷 智子

弘法婦連訪汎汎区役員

- 会長 大坪 ハナ(光明寺)
- 副会長 堀本 和子(賢誠寺)
- 会計 小川 ユキ(真法寺)
- 監査 原田 美枝子(本向寺)
- 川真田 節子(静雲寺)
- 岩田 千代子(大安寺)

亦工主用会

- 会長 藤堂 征彦
- 事務局 高橋 宗瑛



☆夕張永福寺の庫裡・本堂が昨年11月19日に落成致しました。

しほ話 いのち

♡由仁本尊寺で昨年11月赤ちゃん誕生！朋美（ともみ）ちゃん命名、おめでとぅございませう。

♡美唄常光寺に長女惠津子さんが結婚されました。どうぞお幸せに！！

♡由仁本尊寺住職高橋輝信氏が常備会員となる。

◇栗山唯尊寺総代川瀬希介氏が教区総代会副会長に就任しました。

組報第3号に於いて、静雲寺様の報恩講日程に誤りがありました事、ここに訂正し陳謝申し上げます。

(訂正)

誤……7月12・13日
正……7月11・12・13日

組の動き

- 〔青少年部〕
 - ◎8月30日西本寺において日校研修会開催されました。「光に育つ」をテーマに一〇五名が参加しました。
 - 〔同朋部〕
 - ◎8月7日に研修会並びに新年会が、岩見沢平安閣において開催されました。仏教ホスピス・ビハラーについて講師は打本顕真師。
 - 〔婦人部〕
 - ◎12月12日さつき会忘年会開催。伊藤ゆかりディナーショーを楽しみました。
 - 〔門信徒部〕
 - ◎11月21日教尊寺において仏教研修会が開催。「命に問い命を語る」をテーマに43名が出席。講師は杉田英明師。
 - ◎12月3日唯尊寺において総代会総会研修会が開催。寺村顕智師を講師に61名が参加(僧侶部)
 - ◎12月22日空南会忘年会開催

備。於：岩見沢古今亭。

〔組会〕

- ◎4月6日基推委協議会開催。於：岩見沢サンプラザ。
- ◎4月18日定期組会開催。

『寺子院切伯入』

北靈山 本向寺

○開基：明治二十四年二月岩見沢村嶋向南一線東一番地にて説教所開設。

○移転：同三十四年五月岩見沢村嶋向東一号(現在地)に移転

○寺号公称：同三十三年十一月十日に認可

○開基：靈山宗信、二世：一宗、三世：信成

○沿革事項：同三十四年五月本堂庫裡移転新築、大正元年本堂改修、同七年庫裡増新築、昭和二十六年鐘樓堂及び梵鐘建設、同二十八年納骨堂建設、同四十年本堂改築庫裡新築、同五十五年新納骨堂建設

組編佳後改訂記

▼新一年生、新社会人と新しい社会へ一歩を踏み出したフレッシュな顔が目立つ今日この頃です▼本号でも新年度を迎え新しい役員を紹介、抱負等を掲載させて頂きました。今後の御活躍を期待申し上げます▼年2回の組報発行なのに締切ギリギリまでバタバタと追われておりました。正教寺の新妻さん(ワープロ打ち)には、大変迷惑をお掛け致しました▼次号は私の番なので内の古妻にもゴマをすっておかなくては！(Y・H)

組報に関する御意見・御希望等は組長事務所又は広報委員まで御連絡下さい。組報名も募集しています。

発行所：空知南組 組報編集班